

# 東温市水道事業ビジョン

---

「安全・安心でおいしい水の安定供給」  
～うるおいあふれる水資源と歩む水道～

概 要 版

令和3年3月

東温市上下水道課



いのとん©2013 東温市

# 東温市水道事業ビジョンの策定にあたって

## 1-1 策定の趣旨・経緯

本市では、将来にわたって安定供給を持続するために、平成 22 年 3 月に東温市水道事業が目指すべき将来像や具体的な施策を示した「東温市水道ビジョン」を策定し、掲げた目標に対して事業に取り組んできましたが、目標年度を平成 31 年度とした計画であり、見直し（改訂）の時期を迎えています。

東温市水道事業では、これらを踏まえ、今後も市民生活において「安全で安心な水道水を供給する」という重要な役割を果たすため「東温市水道事業ビジョン」を改訂しました。

## 1-2 東温市水道事業ビジョンの位置づけ

東温市水道事業ビジョンは、厚生労働省の新水道ビジョンに基づき、東温市水道事業の施設整備や事業運営の目指すべき方向性を示したものです。

本市の上位計画（関連する他の計画）や水道事業計画等とも整合を図り、長期的視点を踏まえた水道事業の計画であり、東温市水道事業のマスタープランとして位置づけるものです。

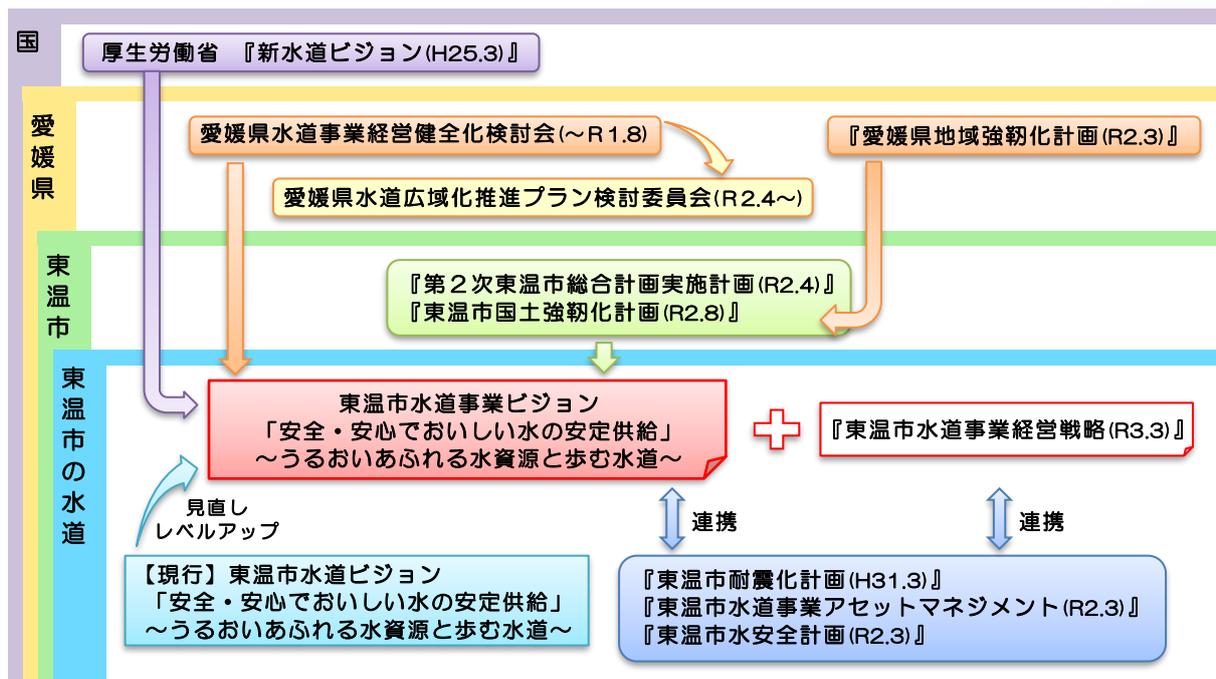


図 東温市水道事業ビジョンの位置づけ

## 1-3 計画期間と目標年度

東温市水道事業ビジョンの計画期間は、2021（令和 3）年度～2030（令和 12）年度の 10 年間とし、目標年度は計画最終年度の 2030（令和 12）年度とします。

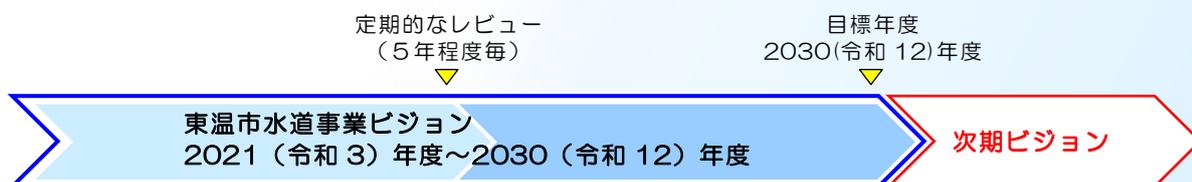


図 計画期間と目標年度

# 東温市水道事業が目指すべき方向

## 【課題】

安 全（安全な水の供給）	強 靱（強靱な水道）	持 続（水道サービスの持続）
<ul style="list-style-type: none"> <li>水質管理の徹底</li> <li>水安全計画の運用</li> <li>給水装置工事業者の資質確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震化の推進</li> <li>老朽化施設の更新</li> <li>緊急対策</li> <li>施設統廃合による効率化</li> <li>施設規模の適正化</li> <li>危機管理体制の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な資産管理の推進</li> <li>経営基盤の強化</li> <li>人材育成と技術継承</li> <li>広域的な連携に向けた取り組み</li> <li>適正な水道料金の検討</li> <li>環境対策</li> </ul>

## 【基本理念】

水道が市民のみなさまにとって安全・安心な水道であり続けるために東温市水道事業ビジョンにおける目指すべき将来像として、下記の基本理念を設定します。

「安全・安心でおいしい水の安定供給」  
～うるおいあふれる水資源と歩む水道～

## 【基本方針】

水道事業の基本理念（理想像）の実現のために「安全」、「強靱」、「持続」の3つの観点に対する基本方針を以下のように定めました。

### 安全：安全で安心な水道水の供給

市民の皆様安心して水道水を利用して頂けるよう、日々施設の維持管理に努めています。今後も引き続き、いつまでも安全な水を確保できる状態を維持し続けるよう努め、「安全で安心な水道水の供給」を目指します。

### 強靱：災害に強い水道施設の構築

水道施設の強化には、耐震化や施設更新などのハード対策と危機管理マニュアルや応急給水・応急復旧計画の策定などのソフト対策があります。今後は、様々な災害に対するハード対策の推進やソフト対策の充実を図り、「災害に強い水道施設の構築」を目指します。

### 持続：持続可能な水道システムの確立

水道施設の管理・運営の課題の一つには老朽化施設への対応があり、人口や給水量の減少による料金収入が見込まれるなかで計画性を持った財源確保と資産管理が求められます。今後は、将来にわたり安定供給を続けるために経営基盤の強化や人材の育成、技術の継承を図り、「持続可能な水道システムの確立」を目指します。

## SDGsの目標との対応



SDGsの目標6では、「6-1 安全・安価な飲料水の普遍的・衡平なアクセスを達成する」、「6-3 様々な手段により水質を改善する」をターゲットとして設定しています。本市は、これを踏まえ、安全な上水道に注目した取組を進めます。



目標9では、「9-1 経済発展と福祉を支える持続可能で強靱なインフラを整備する」をターゲットとして設定しています。本市は、これを踏まえ、災害に強く強靱な水道施設の整備に注目した取組を進めます。

# 推進する実現方策

## 【施策体系図】

本市が目指すべき方法として掲げた基本理念と「安全」、「強靱」、「持続」の3つの基本方針、課題を踏まえて、具体的に推進する実現方策を体系化して以下に示します。

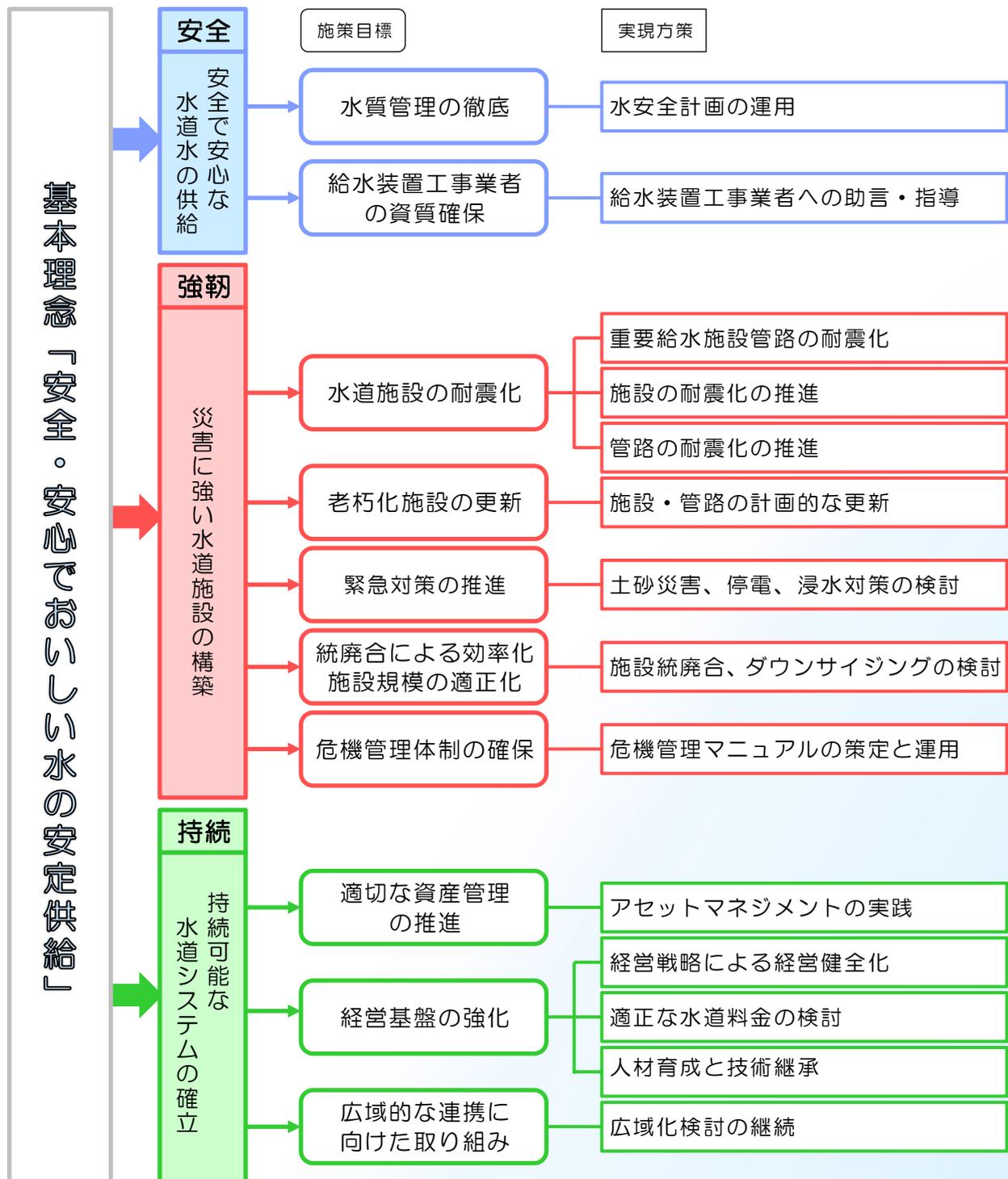


図 東温市の施策体系図

## 【数値目標】

## 1)安全 『安全で安心な水道水の供給』

## 施策目標【安全-1】 水質管理の徹底

項目名称	望ましい方向	現状 2019年度 (令和元年度)	目標① 2025年度 (令和7年度)	目標② 2030年度 (令和12年度)	備考
水質基準遵守率	↑	100%	100%	100%	現状維持

## 2)強靱 『災害に強い水道施設の構築』

## 施策目標【強靱-1】 水道施設の耐震化

項目名称	望ましい方向	現状 2019年度 (令和元年度)	目標① 2025年度 (令和7年度)	目標② 2030年度 (令和12年度)	備考
配水池の耐震化率	↑	87.7%	87.7%	91.9%	耐震化
管路の耐震適合率	↑	76.2%	77.6%	79.3%	耐震化

配水池の耐震化率[%]＝耐震対策の施された配水池有効能力÷配水池等有効容量×100

管路の耐震適合率[%]＝耐震適合性のある管延長÷管路延長×100

※管路延長の集計は、φ50mm以上を対象としています。

## 施策目標【強靱-2】 老朽化施設の更新

項目名称	望ましい方向	現状 2019年度 (令和元年度)	目標① 2025年度 (令和7年度)	目標② 2030年度 (令和12年度)	備考
管路の更新率	↑	0.0%	0.28% (5年平均)	0.31% (10年平均)	計画的更新
有収率	↑	88.2%	91.7%	93.7%	管路更新等

管路の更新率[%]＝更新された管路延長÷管路延長×100

有収率[%]＝年間有収水量÷年間配水量×100

## 3)持続 『持続可能な水道システムの確立』

## 施策目標【持続-2】 経営基盤の強化

項目名称	望ましい方向	現状 2019年度 (令和元年度)	目標① 2025年度 (令和7年度)	目標② 2030年度 (令和12年度)	備考
営業収支比率	↑	72.8%	75.4%	77.6%	経営改善
経常収支比率	↑	86.8%	87.5%	89.9%	経営改善
料金回収率	↑	69.4%	74.6%	80.1%	適正な水道料金の検討

営業収支比率[%]＝(営業収益－受託工事収益)÷(営業費用－受託工事費)×100

経常収支比率[%]＝(営業収益＋営業外収益)÷(営業費用＋営業外費用)×100

料金回収率[%]＝供給単価÷給水原価



## 【財政計画】

### 1)給水収益(料金収入)

給水収益は、人口減少により減少傾向にあります。今後もこの傾向が続くものと考えられます。推計結果によると、料金改定を行わない場合、2019(令和元)年度決算値と比較して、2030(令和12)年度には27百万円の減少(5.1%減)、2050(令和32)年度には112百万円の減少(21.1%減)、2070(令和52)年度には188百万円の減少(35.4%減)となる見込みです。

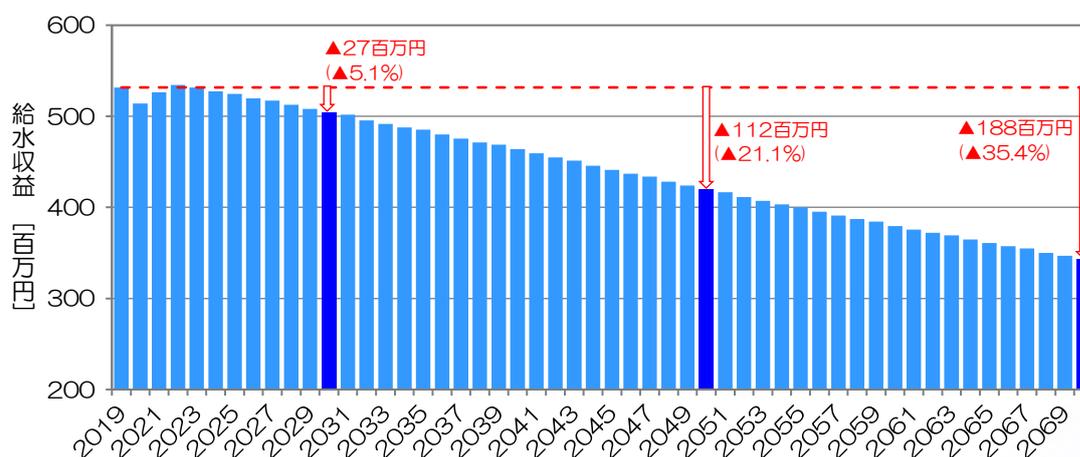


図 給水収益の推移

### (3)収益的収支と資金残高

計画期間における収益的支出は、減価償却費や企業債利息の減少により2035(令和17)年度まで減少を続けた後、概ね横ばいに推移する見込みですが、一方で、収益的収入は、料金収入の減少により減少を続ける見込みのため、継続的に赤字決算になる見込みです。

しかし、資金残高は、現在20億円程度まで増加しています。今後は、資金残高が10億円程度となるように企業債の発行額を抑制します。

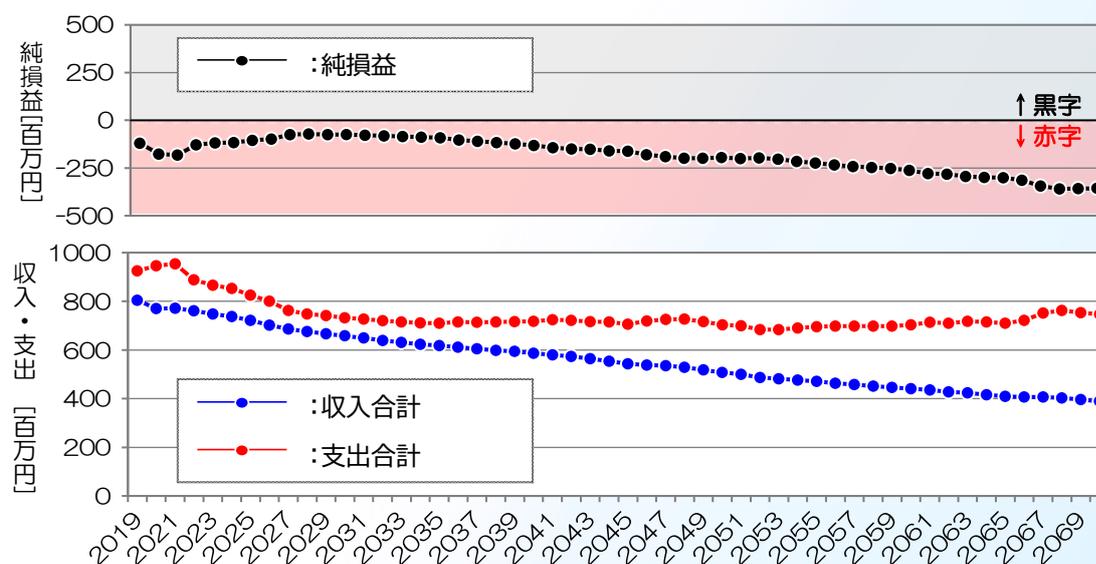


図 収益的収支と純損益の推移

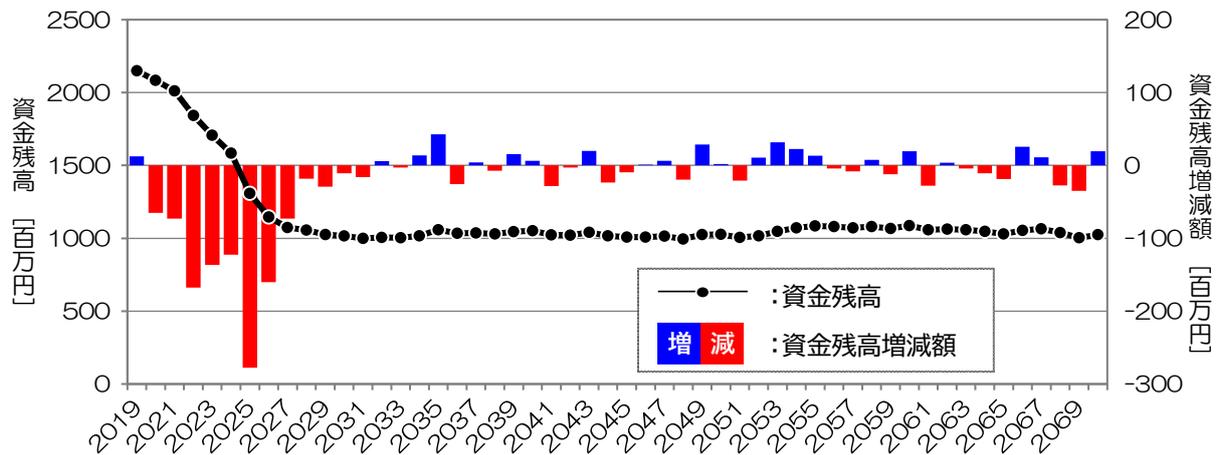


図 資金残高、資金残高増減額の推移

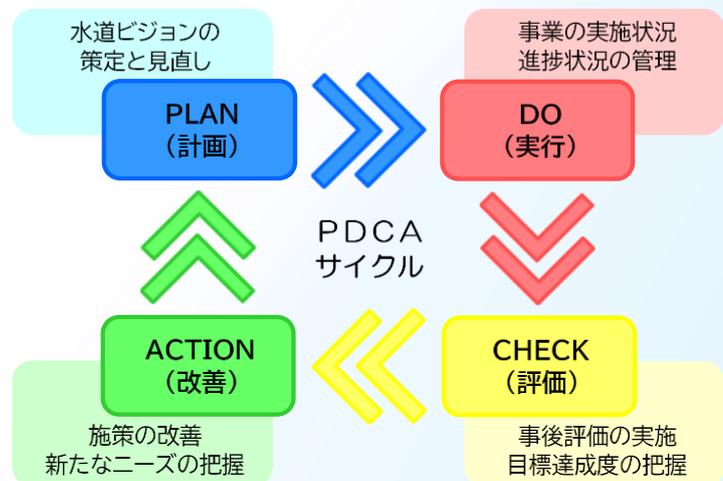
#### 4)まとめ

財政シミュレーションの結果、計画期間内に料金改定を実施しないで資金残高一定以上確保することが出来る結果となりました。しかし、単年度の損益は、赤字決算が継続する見込みとなっており、今後も経営健全化に向けた取り組みに努めます。

## フォローアップ

東温市水道事業ビジョンは、『安全・安心でおいしい水の安定供給～うるおいあふれる水資源と歩む水道～』を基本理念として掲げ、安全・強靱・持続の3つの観点から実現方策を検討し、その理想像を目指して水道事業運営を推進していきます。

具体的な施策を実行していく際には、理想像としての基本理念に向かって、「安全」、「強靱」、「持続」の3つの観点から、計画(Plan)・実行(Do)・確認(Check)・改善(Action)のPDCAサイクルを継続し、事業の進捗状況や目標の達成度に応じて、計画を改善し、レベルアップを図っていきます。



今回の「東温市水道事業ビジョン」策定においては、本市の水道事業が抱えている様々な課題を整理し、現行の水道ビジョンのフォローアップを行い、今後、東温市水道事業が目指すべき方向とそれを実現するための具体的な施策を明らかにしました。

各実現方策は、達成度や進捗を段階的に確認し、水道事業を取り巻く環境や社会情勢の変化に合わせて、目標の見直しや施策の再検討を実施します。

今回掲げた具体的な施策に取り組み、市民の皆様には安全な水を供給するために

### 安全・安心でおいしい水の安定供給 ～うるおいあふれる水資源と歩む水道～

という基本理念のもと、将来にわたってよりよい水道事業を目指して、努めてまいります。